

2022年7月1日

各 位

株式会社チューリップテレビ
代表取締役社長 山野 昌道

J-Lod live の不適切な申請について

新型コロナウイルスのイベントに関する国の補助金（J-Lod live）の申請について、弊社営業局事業部が担当した演劇や舞台公演で、不適切な申請があることが社内の調査でわかりました。

J-Lod live は、新型コロナウイルスの影響により公演を延期・中止した主催事業者に対して、その後実施するライブ公演の費用の一部が補助されるものです。ライブ公演の費用を弊社が負担していることから、この申請はリスク負担者である弊社が行うべきものであるところ、イベントそのものの運営管理を弊社から委託した地元のイベント業者を申請者として申請していたことが明らかとなりました。また中止となったイベントは弊社が 100%費用負担していたにもかかわらず、そのイベント業者を申請者とするためにイベント業者も費用負担していたかのように申請をしていました。

不適切な申請は、弊社が単独主催（当社 100%費用負担）して 2020 年 11 月から 2021 年 9 月に実施した「生きる」や「パレード」、「宝塚花組公演」など 8 件で確認されました。

この 8 件のうち 6 件は、本来弊社が主催者として申請手続きを行わなければならないものを、申請する資格のないイベント業者が代行し、共同主催者であるとして申請していました。

また、残りの 2 件は、弊社が主催者として申請していますが、申請資格の要件となる中止公演について、費用負担していないイベント業者も費用負担したとして申請していました。

これら 8 件について、所管の経済産業省が交付した補助金は、あわせて 33,672,000 円となります。きょう午後、社内調査でこれまでに確認した事実について、経済産業省の補助金事務局に出向き報告し、謝罪しました。

今後の弊社の対応としては、適切に申請した 1 件の補助金も含め、35,799,000 円を返金する意向です。また、この他にも不適切な申請がないか詳しい調査を実施し、不正の全容解明を図ったうえで、厳正な処分及び再発防止策をとりまとめ公表します。

本来申請資格のないイベント業者名で申請したことは不適切で、報道機関としての認識に甘さがあったと言わざるを得ません。信頼を損なう事象を引き起こしたことについて、皆様に深くお詫び申し上げます。

以 上